

「愛」が冷めた理由

19日に社民党を離党した辻元清美・前副国土交通相。離党を決断した背景には、米軍普天間飛行場移設をめぐる「国際電話」があった。

普天間問題に鳩山政権（当時）の携帯に国際電話をかけ続けた。国民党の山岡賢次国対委員長は副国交相として英独仏へ外遊中だった。「閣議ナード」だった山岡氏の働き

決定に辺野古と書いたらダメです」。国際会議などが立て込む日程の中、

約8時間の時差も配慮し

つつ、数回にわたり民主

党の山岡賢次国対委員長

が揺れた5月末、辻元氏

は副国交相として英独仏

へ外遊中だった。「閣議ナード」だった山岡氏の働き

永田町

壁耳



辻元清美氏

辻元氏は外遊に先立ち鳩山由紀夫首相や小沢一郎幹事長（いずれも當時）と面会、電話を繰り返し、辺野古移転を阻止しようとしていたが、パリ空港に向かう列車内で結果を聞かされた。離党の原因は諸説あるが、普天間問題を巡り政策を実現できない無力感も「社民愛」が冷めた一因だったようだ。【大場伸也】